

～ 保育者が、本気で取り組む「保育防災」～

JP子どもの森づくり運動

「保育防災アクションマイスター認定講座」

受講者募集



● お問い合わせ・受講申し込み先 ●

NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク(子森ネット)

〒146-0082 東京都大田区池上1-3-4

Tel:03-5755-3213 Fax:03-5755-3081

mail:info@kodomonono-mori.net

保育防災アクションマイスター認定講座とは

▶ なぜ「保育防災認定講座」なのか

巨大地震や豪雨災害の頻発など、今や災害列島化した我が国においては、保育施設における防災対策は待ったなしです。しかしながら、そもそも多くの幼児(少)期子どもたちを預かっている保育施設では、通常の防災対策は通用しません。実効性のある対策としては、それぞれの施設に、いわゆる「保育防災リーダー」を配置し、リーダーが中心になって園全体で施設独自の防災の仕組みづくりと防災意識を高めることに取り組むことでしか実現できないと考えます。

▶ 「保育防災アクションマイスター認定講座」の設立

そのような状況を踏まえ、JP子どもの森づくり運動（特別協賛：日本郵政グループ）では、2020年に、消防庁防災アドバイザー鎌田修広氏（株式会社タフ・ジャパン代表取締役）と共に、保育施設に特化した防災のスキルと高い防災マインドを持つ「保育防災リーダー」の養成を目指す「保育防災アクションマイスター認定講座」の仕組みづくりに取り組み、2021年から認定講座の運営を開始しました。

▶ 認定講座の特徴

- ① 一般的な防災のスキルを学ぶだけの講座ではなく、受講園それぞれの事情に応じた実効性ある防災活動の仕組みづくりを目指す実践講座です。
- ② 防災活動の実効性を確保するために、講座の教材として他園における優れた防災活動事例を積極的に活用します。
- ③ 実効性ある保育防災には保護者との情報共有が必須です。本講座では、災害時に本当に役立つ「安否確認／一斉同報システム」（詳細別紙）を提案したいと思います。さらに、今や優れた保育防災活動の地域や保護者への効果的な情報発信は園の価値を確実に高める時代です。地域や保護者に対する効果的な情報発信のノウハウも提供したいと思います。

「保育防災アクションマイスター」に求められるのは、なによりも、
“災害時に子どもの運命を変えるのはわたしたちだ！”という強い決意です。
単に役職として務めるのではなく、高い防災意識を持って、自ら率先して動いていただかねばなりません。
だから**「防災“アクション”マイスター」**なのです。今回の取り組みが、
「保育防災」の普及、及び保育のあらたな価値向上に少しでも役立つことを願っています。

講座概要

1. 運営：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク（子森ネット）
2. 運営協力：株式会社タフ・ジャパン
3. 特別協賛：日本郵政グループ
4. 協力：全国私立保育園連盟 大谷保育協会 子ども環境研究所「ギビングツリー」 他
5. 実施概要
 - 1) 第二期運営期間：2022年4月～2023年3月
 - 2) 受講生（二期生）募集期間：2022年2月～3月末
 - 3) 募集人数：各園2名までを資格認定対象者として上限12園（24名）を募集（先着順）
 - 4) 講座内容：講座は、消防庁防災アドバイザー鎌田 修広氏（株式会社タフ・ジャパン代表取締役）による、原則、年6回のOnlineによるワークショップ形式（WS）形式で進行されます。
 - 5) 資格認定：保育防災アクションマイスター、及び認定園の資格認定（証）は、JP子どもの森づくり運動「保育防災アクションマイスター認定委員会」（委員長：鎌田 修広氏）によって認定されます。（*注）
 - 6) 受講料：3万円（年間 / 園）
*各園2名までを資格認定対象者とします。（リモート講座には何人でも参加できます。）
 - 7) 受講申し込み方法：別紙申し込み用紙にご記入の上、子森ネットまでお申込み下さい。

講座概要

1. 講師

● 鎌田 修広 (のぶひろ) 氏
消防庁防災アドバイザー
株式会社タフ・ジャパン代表取締役

- ・ 1969年 3月27日生まれ
- ・ 消防局勤務18年間の半分は体育教官として消防職員の人材育成等に従事。退職後は、災害に強い人づくり・まちづくりの実現を目指し、全国各地に年間約200回出張中。
- ・ JP子どもの森づくり運動が取り組む「保育防災」のアドバイザーとして、『本当に、子どもの命を守る』をテーマに、保育施設に特化した防災・減災の仕組みづくりと「災害時相互支援協力協定」のネットワークづくりに取り組んでいる。



2. 講座回数

研修講座は、原則、年6回、ZOOMによるリモートでのワークショップ形式 (以下、WS) で実施します。必要に応じて、講師による出張講座にも対応します。

3. 講座内容

1) WS は、主に以下のカテゴリーに沿って進行されます。

- ① 事前準備・初動体制
- ② 情報収集・安否確認
- ③ 消火・救助救出・応急救護
- ④ 避難訓練
- ⑤ 地域や保護者との連携
- ⑥ 食料等の備蓄

2) WS は、参加園それぞれが、各カテゴリーごとに自園における防災活動の優先課題を設定し、課題を解決する方法や取り組みを園全体で協議し、結果を発表するという実践的な内容で進行されます。

WSを通じて、自園の防災活動における課題を見出し、園全体で共有していただきます。

*上記カテゴリーは変更される場合があります。

4. 防災動画

保育者にとって、もっとも参考になるのは他園における優れた防災活動事例です。参加園から保育防災活動動画を募集し、講座の教材として活用します。

5. 安否確認

NTT コミュニケーションズ株式会社との連携で、災害時に本当に役立つ「安否確認/一斉通報」のシステムをご提案します。(別経費 / 詳細別紙ご参照)

(*注) JP子どもの森づくり運動「保育防災アクションマスター」認定委員会

委員長：鎌田 修広 (消防庁防災アドバイザー/タフ・ジャパン代表) 代表：塚原 茂 (防災士/子森ネット代表理事) 他、防災関係者と保育関係者によって構成されている。保育防災アクションマスターに「認証状」と「認定バッジ」を、保育防災アクションマスターによる防災活動に取り組んでいる園に「認定状」を発行している。(以下、イメージ)





二期生への応援メッセージ

鎌田講師からの応援メッセージ

一年間「子どもたちの運命を変えるのはわたしたちだ！」という強い意志で防災・減災アクションを起こし続けてくださった一期生の皆さん…、予想以上の成果（効果）に私も事務局も皆驚きを隠せませんでした。二期生の応募を検討中の皆様、今ならまだ間に合いますよ！（^^）私も全力でサポートさせていただきます。

一期生からの応援メッセージ（順不同）

新潟県 つくし幼稚園 相村先生

「保育防災アクションマイスター」なら、防災のプロから知識を得て、対策、準備をし、その活動を仲間と共に研鑽していくので成果がすぐに出る！当園ではHPを活用して自園で行っている防災保育について保護者に知らせることが出来ました。防災活動に入れた1年でした。保育防災アクションマイスターの新しい仲間が増える事を楽しみにしています。

岩手県 豊間根保育園 坂本先生

小さなことでも、まずは「やってみる」ことで、たくさんの「発見」を生み出すことができると思います。先生方の1歩踏み出す勇気と挑戦が子どもの命を救います。そして、1年後…今までは違う世界を歩み出せるかもしれません！

岩手県 豊間根保育園 堀合先生

最初は、自分にできるだろうかという不安もありましたが、子どもたちも自分も命を守れるように大切な防災について知ることができるという思いに変わっていきました。この研修に参加して、得た知識や取り組み、情報すべてが、防災、減災の備えになります。そして、そのことを皆に伝えたい、実行したいという思いになります。人とのつながりを考えられる良い経験になります。

岩手県 山田町第一保育所 上野先生

保育防災は初めどのように始めればいいのか、戸惑ってしまう事があると思います。でも、一緒に研修を受ける仲間や講師の先生方と一緒に相談し合いながら、新しい取り組みに挑戦し、今ある防災について見つめ直す良い機会になります。子ども達や自園を守る保育防災アクションマイスターを目指し頑張ってください。

岩手県 山田町第一保育所 阿部先生

保育防災について、参加園のみなさんと一緒に考えたり、学んだりとても貴重な時間です。講師の方、専門の方からもお話を聞けたり沢山学べます。子どもたちの命を守るとても大切な講座ですので、ぜひ参加し保育防災アクションマイスターとして活躍して下さい。

岩手県 あかまえこども園 高橋先生

一緒に同じ道を歩む仲間と一緒に学び合って頑張ってください。最後には達成感とこれからに対しての意欲がわいてくると思います。子ども達を守るためには必要な力となること間違いなし！同志と向き合い取り組んでいってください。

埼玉県 児玉保育園 森先生

スタートした頃は、何から始めようか悩みましたが、アドバイスをいただき、園の職員と話し合い、課題を抽出してから進めていきました。ワークショップでは、様々な園との交流ができ、他園の取り組みを聞く中で、悩みを共有したり、刺激を受け、楽しみながら取り組むことが出来ます。一緒に保育防災アクションマイスターになりましょう！